

バラの魅力と香り

1．豊かな花の種類

多くの色合いや形があります。例えば花の大きさ、花びらの数や形
花卉の色では白やピンク、赤、藤色、紫、黄色、橙色、茶色、緑色 + こ
れらが2色、3色混ざったもの(複色花)
唯一バラにない色は青色

2．開花特性

(1) 四季咲き性

春から秋まで花柄を摘む剪定するとまた咲いて絶え間なく咲いてい
るイメージがある。ハイブリッド・ティ、フロリバンダ、ミニばら
種に多い

(2) 一季咲き性

つるバラに多く、春に株一面に咲きその後は咲かない。その分春の
エネルギーは強く見事な咲き方をする。

(3) 返り咲き性

一季咲きに準ずる。春一面に咲いた後新枝やシュート枝の先端にち
らほらと咲く

(4) 繰り返し咲き性

春一斉に咲いた後に番花も咲く。秋は四季咲き性より少ない。秋の
花枝は長めの品種が多い。シュラブ

3．バラの花型と変遷

(1) 野生種

紀元前～ 一重咲きが多い

(2) オールドローズ

18世紀～19世紀前西洋と東洋のバラが出会う。八重咲、カップ咲き
ロゼット咲き

(3) モダンローズ(現代バラ)

1867年～20世紀 昭和ハイブリッドティの全盛期

(4) 次世代のバラ

21世紀 耐病性が強い、開花特性や自然樹形は様々

4 . バラの香り

	香りのタイプ	主な成分	香りの特徴	主要品種
1	ダマスク・クラシック	β フェネチルアルコール ゲラニオール	華やかで強い甘さ	香久山・芳純・ティファニー、スベニール・ド・ラ・マルメゾン
2	ダマスク・モダン	ゲラニオール シトロネロール	情熱的で濃厚な甘さ	パパ・メイヤン、クリムゾングローリー レディ・ラック、マーガレット・メリル
3	フルーティー	ゲラニオール 果物の香り	さわやかで若々しい印象	ダブルデライト、ドフトボルゲ、マリアカラス、ホワイトクリスマス
4	ティー	ジメトキシメチルベンゼン 紅茶のような	上品で優雅な印象	ディオラマ、ガーデンパーティ ロイヤル・ハイネス
5	ブルー	ダマスクモダン + ティ + シトラス	女性らしい芳純な甘さ	ブルームーン、スターリングシルバー
6	スパイシー	オイゲノール(丁子)	グローブのような、刺激を感じる乾いた香り	デンティベス、ハマナス、粉粧楼エスカペート
7	ミルラ (アニス)	ハーブのアニス風	大人っぽく落ち着き	アンブリッジ・ローズグラミス・キャッスル